


干潟の観察

期待される効果															
思考力	判断力	表現力	創造力	コミュニケーション能力	体力	生命尊重	感動する心	知識・技能	協調性	主体性	課題発見	課題解決能力	自然への気づき	自然愛護	
○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
活動場所		加江田川河口						対象		未就学児～一般					
班の人数		4人～6人						所要時間		2時間～3時間					
団体側の準備物		帽子・水筒・タオル・サンダルもしくは長靴・ビニール袋・軍手													
施設側の準備物		無線・資料・バケツ・スコップ・熊手・防災セット（マッフ・拡声器・ラジオ）													
活動の内容															
<ul style="list-style-type: none"> ○ 加江田川河口の干潟は、ハクセンシオマネキなどのカニ類や小魚、それらをエサにする野鳥などを観察することができる。 ○ 観察活動を通して、生物の観察だけでなく、生物の営みや干潟の役割、山・川・海の成り立ちを肌で感じることができる。 															
															
活動の流れ															
<ol style="list-style-type: none"> ① 活動についての説明 《資料・道具の説明》 ・活動場所について説明（場所や生物への配慮、活動エリア） ② 活動開始 ③ 移動、片付け ④ ふりかえり 															
留意点															
<ul style="list-style-type: none"> ○ 津波警報発令時は、自然の家屋上へ避難する。 ○ 班で行動し、適度に休息・水分補給を入れる。 ○ 移動の際は、車や人の通行に注意する。 ○ 生きているものは観察後に逃がす。動物の死骸や危険な物には触れないようにする。 ○ 靴・サンダルを履いて活動する。（はだし厳禁） ○ 道具を使わないときは、置く場所を決める。（ケガや紛失する場合がある） 															
引率者の動き															
<p>（事前）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1班4～6人の班の編成を行い、班長を決めておく。 ○ 潮汐、活動エリア、危険箇所等の確認する。 <p>（当日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 津波警報発令時は、自然の家へ避難誘導をする。 ○ 研修生の安全管理に努め、水分補給を促す。 															